

- 問1 経済活動の拡大に伴い、大気中の温室効果ガスの濃度が高まることで生じる「地球温暖化」がもたらす影響として、世界各地の低地や島国で最も懸念されている状況はどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)

1. 大雨によって土壌の塩分が流れ、農作物が育たなくなる現象

2. 過放牧や森林伐採が原因で、土地が乾燥し砂漠化が広がる現象

3. 海面上昇による浸水や、国土そのものの消失

4. 有害な紫外線が地表に直接届くようになり、皮膚がんなどの健康被害が増える現象
- 問2 世界の諸地域の気候を調べた資料において、ある都市の統計は「最も暑い月の平均気温が20度弱、最も寒い月の平均気温が5度程度であり、降水量は一年を通して各月50mm前後で大きな変化がない」というものでした。この統計に該当する気候区の特徴として正しいものを選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 夏季に極端に雨が少なく乾燥し、冬季に一定の降水が見られる

2. 年間を通して降水量の差が少なく、夏は涼しく冬の寒さも穏やかである

3. 年間を通して気温が高く、一年中非常に激しい雨が降る

4. 夏に降水が集中し、冬の気温は氷点下まで下がるほど寒冷である
- 問3 2021年の統計において、ロシアとウクライナの2か国だけで世界の輸出シェアの約4分の1を占めていた農産物について、これらの地域で生産が盛んな理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

1. 地形が険しい山岳地帯において、斜面を利用した段々畑での栽培が主流であるため

2. ラトソルと呼ばれる酸性の土壌を改良し、灌漑施設を整えて生産しているため

3. チェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布し、大規模な栽培に適しているため

4. 熱帯雨林気候に属しており、年間を通じて高温多湿で成長が早いいため
- 問4 世界の諸地域の気候を調査した資料において、ある都市は赤道直下の低緯度に位置していますが、近隣の低地の都市に比べて気温が明らかに低く、年間を通して気温の変化が小さいという特徴がありました。このような特徴を持つ「高山気候」について述べた文として正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

1. 夏と冬の気温差が非常に大きく、冬には氷点下30度を下回る。

2. 一年を通して降水量が非常に多く、熱帯雨林が広がっている。

3. 季節風の影響を強く受けるため、夏に激しい雨が降る。

4. 緯度が低くても標高が高いため、一年中涼しい気候となっている。
- 問5 アフリカのサヘル地域など、乾燥帯の周辺において、人口の増加に伴う燃料用の木材の過剰な伐採や、家畜を許容範囲を超えて飼育することなどによって、もともとあった森林や草原が失われ、土地が不毛な状態になる現象を何といいますか。 (2017年 三重県公立入試 類似)

1. 地球温暖化

2. 酸性雨

3. 塩害

4. 砂漠化
- 問6 熱帯や亜熱帯地域において、バナナ、コーヒー、カカオ、天然ゴムといった特定の作物を、主に輸出することを目的として大規模に栽培する大農園を何といいますか。 (2023年 大分県公立入試 類似)

1. 施設園芸農業

2. 地中海式農業

3. プランテーション

4. 自給的農業
- 問7 低緯度地域に位置しながらも、年間を通じて気温が低く過ごしやすい「高地気候」について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)

1. 高地は海から遠い内陸部に位置することが多いため、寒流の影響を強く受けて気温が下がる。

2. 赤道に近い地域では、標高に関わらず太陽からの熱を直接受けるため、常に熱帯の気候となる。

3. 標高が高くなると空気が薄くなり、地表からの熱が伝わりにくくなるため、緯度が低くても気温が下がる。

4. 高地では季節による昼夜の長さの変化が非常に大きいため、夏でも気温が上がりにくい。
- 問8 南アジアなどで見られる、夏と冬で風向きが反対になる風を何といいますか。特に夏には、湿った空気をインド洋などの海洋側から大陸へと運び、地域に雨季をもたらす要因となる風の名称を答えなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 貿易風

2. モンスーン（季節風）

3. 偏西風

4. 熱帯低気圧
- 問9 世界の農産物生産統計において、ブラジル（約1億1,427万トン）とアメリカ合衆国（約9,679万トン）の2か国が世界全体の生産量の多くを占め、3位の中国（約1,572万トン）を大きく引き離している品目として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 米

2. 大豆

3. 茶

4. 小麦
- 問10 ベトナム南部の北緯10度付近に位置するある都市では、月平均気温が年間を通して約25度から30度と高く推移しています。降水量の統計を見ると、5月から10月にかけて降水量が著しく増加する一方で、12月から3月頃までは降水量が非常に少なくなっています。このような気候の特徴を正しく説明したものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)

1. 夏と冬の気温差が大きく、夏に雨が集中し、冬には雪が降る

2. 気温は高いものの、年間を通して降水量が極めて少なく、砂漠が広がっている

3. 一年中気温が高く、降水量の多い時期（雨季）と少ない時期（乾季）がはっきりと分かれている

4. 一年中気温が高く、年間を通じて一様に多量の降水が見られる
- 問11 南アメリカのアマゾン川流域で行われている伝統的な農業において、森林を燃やす理由として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

1. 森林を燃やして生じる灰を肥料にすることで、養分の乏しい熱帯の土地で農作物を育てるため。

2. 森林を燃やすことで地面の温度を上げ、寒冷な気候でもトウモロコシが育つようにするため。

3. 害虫を駆除するとともに、灰を家畜の飼料に混ぜて大規模な放牧を行うため。

4. 燃やした後の広大な土地を大規模な農園とし、輸出用のコーヒーやカカオを栽培するため。
- 問12 ある地域の気象データを確認すると、年平均気温が27.6℃に達し、月ごとの平均気温も常に25℃前後で推移しており、季節による変化がほとんど見られません。また、年間の降水量が2000mmを超えるような「高温多湿」な特徴を持つこの気候帯の名称を答えなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)

1. 冷帯（亜寒帯）

2. 温帯

3. 乾燥帯

4. 熱帯
- 問13 赤道付近に位置する地域において、一年を通じて気温が高く、さらに乾季がほとんど見られないほど降水量が非常に多い気候区を何と呼びますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 温暖湿润気候

2. 熱帯雨林気候

3. サバナ気候

4. 熱帯モンスーン気候

答え合わせ・解説

問1	答え 3 海面上昇による浸水や、国土そのものの消失	地球温暖化の影響で最も深刻な問題の一つが海面上昇です。ベネチアのような歴史的な都市や、南太平洋の島国ツバルなどは、わずかな海面の上昇でも街が冠水したり、居住可能な土地が失われたりする危機に直面しています。これは二酸化炭素などの温室効果ガス削減が世界共通の課題となっている主要な理由です。
問2	答え 2 年間を通して降水量の差が少なく、夏は涼しく冬の寒さも穏やかである	設問の統計データは西岸海洋性気候の特色を示しています。この気候区では、夏は高温にならず涼しく、冬も暖流の影響で緯度のわりに寒さが厳しくないため、気温の年較差が小さくなるのが大きな特徴です。また、季節による降水量の変動が少なく、一年を通して平均的に雨が降る点も、夏に乾燥する地中海性気候などとは異なる重要なポイントです。
問3	答え 3 チェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布し、大規模な栽培に適しているため	ウクライナからロシア南部にかけては、チェルノーゼム（黒土）と呼ばれる非常に肥沃な土壌が広がっており、世界有数の小麦生産地帯となっています。2021年のデータでも、ロシアが輸出1位、ウクライナが5位となっており、世界市場において重要な役割を果たしています。
問4	答え 4 緯度が低くても標高が高いため、一年中涼しい気候となっている。	高山気候は、低緯度地域の高地で見られる特殊な気候です。本来は熱帯になるはずの緯度であっても、標高が高いために月別平均気温が低く抑えられ、季節による気温の変化も少ない「常春（とこはる）」のような状態になります。アンデス山脈のほか、エチオピア高原やチベット高原などでも見られます。
問5	答え 4 砂漠化	アフリカのサハラ砂漠南縁に広がるサヘル地域などでは、急激な人口増加により、調理などの燃料にするための薪（木材）を大量に伐採する森林破壊や、家畜を過剰に飼育する「過放牧」が深刻化しています。これらによって植物が失われると、風雨によって土壌が削られやすくなり、かつての肥沃な土地が再生困難な痩せた土地へと変化してしまいます。
問6	答え 3 プランテーション	熱帯・亜熱帯の地域で見られる、輸出用の商品作物を専門に生産する大規模な農園の形態です。かつて欧米諸国の植民地であった地域を中心に、安価な労働力を利用して開発された歴史的背景があります。現在でも多くの途上国において、重要な外貨獲得の手段となっています。
問7	答え 3 標高が高くなると空気が薄くなり、地表からの熱が伝わりにくくなるため、緯度が低くても気温が下がる。	気温は標高が100m上がるごとに約0.6度下がるという性質があります。そのため、メキシコシティ（標高約2,300m）のように低緯度にある都市であっても、標高が高いことで「常春」とも呼ばれる涼しく過ごしやすい気候になります。これは、高度が上がるにつれて大気が熱を保持しにくくなるためです。
問8	答え 2 モンスーン（季節風）	大陸と海洋は温まりやすさが異なるため、季節によって気圧の配置が変化します。南アジアでは、夏に熱せられた大陸側の気圧が低くなり、湿った空気が海洋から大陸へと流れ込むため、大規模な降水が発生します。この仕組みで吹く風を季節風と呼びます。
問9	答え 2 大豆	南北アメリカ大陸に位置するブラジルとアメリカ合衆国は、世界的な大豆の主要生産国です。これらの国々では広大な土地を利用した大規模な農業が行われており、生産量は他の国々と比較して圧倒的に多いのが特徴です。米や小麦は中国やインドなどのアジア地域でも非常に多く生産されているため、この統計データのような極端な偏りは見られません。
問10	答え 3 一年中気温が高く、降水量の多い時期（雨季）と少ない時期（乾季）がはっきりと分かれている	低緯度に位置する熱帯の地域のうち、ベトナム南部などのように季節によって降水量が大きく変動する地域には、雨季と乾季が存在します。一年中雨が多い「熱帯雨林気候」とは異なり、サバナ気候などに代表されるこの気候は、景観や農業に大きな影響を与えます。気温が一年中高いことは熱帯共通の基礎的な特徴です。
問11	答え 1 森林を燃やして生じる灰を肥料にすることで、養分の乏しい熱帯の土地で農作物を育てるため。	熱帯の土壌（ラトソル）は一般に養分が少ない。焼畑農業では、燃焼によって生じたカリウムなどの灰の成分が肥料の役割を果たす。一方で、近年の人口増加や定住化により、森林の再生を待たずに次の焼き払いを行うケースが増えており、熱帯雨林の減少が地球環境問題の一つとして議論されている。
問12	答え 4 熱帯	赤道に近い低緯度地域では、一年を通じて太陽の光を強く受けるため、季節を問わず気温が高い状態が維持されます。強い日射によって上昇気流が発生しやすく、スコールのような激しい雨が頻繁に降るため、年間降水量も非常に多くなるのが特徴です。
問13	答え 2 熱帯雨林気候	赤道直下の地域は太陽のエネルギーを直接受けるため、一年中高温となります。強い日差しによって上昇気流が発生し、午後に「スコール」と呼ばれる激しい雨が降るため、年間を通じて多雨な環境が形成されます。同じ熱帯でも、明確な乾季があるサバナ気候とは区別されます。